

「ダーナ」とはサンスクリット語で、[布施]の意。

ダーナ●第16号

発行日●平成22年7月10日

編集/発行●浄土宗平和協会(JPA)

発行人●荻野順雄

YEAR BOOK

Jodo Shu Peace Association

浄土宗平和協会(JPA・荻野順雄理事長)は本年度、創立20周年を迎えた。浄土宗唯一の平和団体として「協会」設立から4年目、名実ともに公益性を持つ教化団体として、飛躍の年を迎える。昨年度末で会員数が400人近くとなり、本年度は住職在住寺院数の十分の一、500人(団体)以上の会員獲得を目指し、宗内外に呼びかけていく。

浄平協は昭和63年の教化推進会議の議決を経て、平成2年に「浄土宗平和推進協議会」として、会員制をとらない協議会として産声を上げた。当時の「聖日献金」(平成18年から「平和念仏募金」と名称変更)を管理する協議会として活動を続けた。平成18年、会員制をとり協会組織となり、私費留学生に本を贈呈する「ブックギフトin Tokyo」、社会参加する寺院を顕彰する浄土宗平和賞などの事業の幅を広げた。

名実ともに浄土宗内で「公益教化団体」として認知されるよう団体細則を昨年1年かけて変更、総会規程を設けるなど大幅な規則変更を行った。併せて、事務局体制も、宗務庁職員に事務を委任するのではなく、できる限り自前の事務局で、事務を遂行できるよう事務局体制の充実を行った。また、細則の変更で、1,000万円を超す平和基金の運用法が、突発的な災害、テロ、紛争の被害者支援に機動的に対処できるよう、基金の中から緊急募金をする前提で、一部取り崩して緊急救援金に充てることができるようになった。これにより、災害、紛争、テロなどの国際的異変に対しフットワーク良く対応できるようになった。平和基金は20年かけて、様々の篤志の御寺院からご喜捨いただいた、平

創立20周年の節目 平和団体から 公益教化団体へ深化

和のための活動基金で、有効活用が望まれている。

本年度は、ブックギフトin Tokyo を関西地区に広げ、ブックギフトin Kansai として、活動できるよう予備的に、新設された滋賀支部ほか関西有志と研究を行う。また、恒例の平和賞、NGO支援、平和念仏募金も、従来通り行う。

これまで隔年開催だったスタディーツアーは、今年初めて、毎年開催を試行する。NGO支援先でもある日本国際ボランティアセンター、パレスチナ子どものキャンペーン2団体の協力で、宗教のつぼ、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の聖地イスラエルの首都エルサレム、キリストの生誕地ベツレヘム、東ローマ帝国の首都で、ボスフォラス海峡に面した東西文明であった都市イスタンブールを訪れる。特にエルサレム、ベツレヘムでは、永年紛争が絶えないパレスチナ問題を現地で学ぶ本格的なスタディーツアーを実施する。本年度も浄土宗平和協会の活動にご期待ください。

浄平協副総裁・大本山光明寺宮林昭彦台下から平和賞を授与される山田智之師



第2回浄土宗平和賞

東京教区山田智之上人・森下慎一上人が 共同受賞

去る6月8日大本山増上寺に於いて「浄土宗平和協会」平成22年度総会の席上、第2回浄土宗平和賞の授賞式が行われました。

今回の受賞者は各地より推薦を受けた11のエントリーの中から、東京教区城南組魚籃寺の山田智之上人が主宰する「おさかなの家」と浅草組源寺の森下慎一上人が主宰する「ぞうさんのおうち」が共同受賞、浄土宗平和協会副総裁・大本山光明寺宮林昭彦台下よりそれぞれ賞状・額装彫金レリーフ並びに活動資金として副賞が手渡されました。

両者共にNPO法人「ファミリーハウス」と連携し、難病を抱える子ども、そしてその家族に宿泊施設を提供し、東京の大学病院などでの高度先進医療の治療を余儀なくされている患者やその家族を支援する活動をされています。

医療費はもとよりこうした患者を抱える家族にとって交通費や宿泊費は大きな経済的負担となります。経済問題から家族が崩壊するケースも間々あるようです。利用者は数日から長期では数カ月乃至数年もあり、施設に宿泊しながら家族が病院の看護に通うこともあれば、患者と子どもこの施設に泊まって治療や検査に向かう事もあるようですが、難病患者を抱える家族の経済的負担軽減に大いに貢献しています。

また、複数の利用者が施設での生活をする中で、同じ悩みを持つ者どうしが励まし合い、いたわり合うといった家族間の交流の場としても大きな役割をはたしているようです。両上人共に利用者の患者家族をそっと見守るといった

スタンスで、時には相談を受け、死について、仏教についてお話をすることもありますが、あまり宗教色を前面に押し出す事は控えているようです。

受賞スピーチの中で、山田上人は「たまたま知ったファミリーハウスの活動と自坊の所有する門前の家作が返還されたことが契機になった」、森下上人も「山田上人の活動に賛同するうち自坊の所有の貸し店舗兼住宅が返還されることとなり、この活動に参加することになった」とお二人とも「ご縁に導かれて」の活動であることを強調されておいででした。まさにご縁を頂くなか、わたしたち一人一人「今わたしができること」を考えてゆくことが大切ではないかと感じました。

平和賞候補のうち、委員会で得票のあった以下の5団体は来年度の第3回平和賞候補として残ります。

- ①つきかげ堂（福井純史代表）
- ②パネルシアター（武智公英代表）
- ③NPO法人ユニ（遠藤暁及代表）
- ④NPOグローバル・ヒューマン・サポーターズ（本多義敬代表）
- ⑤圓福寺（池田常臣代表）



宮林台下と受賞したお二人

私は後ろから見ているだけのボランティア おさかなの家・山田智之

NPOファミリーハウスは、今年で創立19年になります。おさかなの家は、平成6年3月にオープンいたしました。当初は3室、3家族でした。しかし、家屋が古いために改修が必要となり、平成12年に建物を新築いたしま

した。新おさかなの家は、5部屋5家族、風呂は2つ、トイレは4カ所、洗面台は2カ所と大幅に改善されました。

小児がんは、年間2千人が発症し、約100人が上京してきます。治療期間は、オープン当初では短期で50日、中

期で3ヶ月、長期は半年以上でした。

しかし現在では、治療法も薬も飛躍的に進歩して、治療のための滞在期間も大幅に短縮されました。しかし、小児がん以外の難病も増えてきました。現在では、急病のためドクターヘリで運ばれてくる患者もいます。

患者の両親は、20代から30代と若く、東京と地方の格差もあり、若い親にとってはたいへんです。祖父母に

とつても、初孫という方も多く、双方の祖父母が付き添ってくることもよくあります。

ハウスを経営する上で、最も気を遣うのは衛生面です。そのためには、ボランティアの活動が欠かせません。おさかなの家には、9人のボランティアの登録があり、その他にも各種メーカー協力、その会社の社員の方々のご協力があり、さらには事務局の多大な

指導のもとに全員が協力し合って、活動しております。私の活動はというと、あまりありません。利用者の案内、利用料の授受、あとは後ろから見ていただけのボランティアです。

今後共、利用者のある限り、ハウスの経営を続けて、微力ながら協力を惜しまないつもりです。

末筆ながら、今回の平和賞の受賞、ありがたく感謝申し上げます。

「もう一つの我が家」を提供する活動

ぞうさんのおうち・森下慎一



この度は大きな賞を頂戴し、たいへん光栄でございます。その一方でこれは、もっとがんばりなさいというみなさまの叱咤激励の意であると受け止めて、今後ますます精進したまいたいと思います。

ファミリーハウスとは、子どもが大きな病気にかかり、自宅から離れた医療機関で高度な検査や治療が必要になった時、安心・安全・安価で滞在できる「もう一つの我が家」を提供する

活動です。現在NPOファミリーハウスは都内で9施設55部屋を運営しています。私ども夫婦はそのひとつである「ぞうさんのおうち」のハウスオーナーをしています。

具体的に私たち夫婦がするのは、ファミリーハウス事務局から利用申し込みのFAXを受け、ハウスを整えること。利用者さんがみえたら部屋の鍵とリネンを渡すことなどです。時には駅からの道で迷ってしまう利用者さん

がいらしたり、到着時間が予定と大幅にずれてしまったりと、対応に苦勞をすることもあります。

利用者さんと接する際は、病気の事など立ち入ったことは何も聞きません。余計な干渉はしませんが、いつでも気にかけていますから、何かあったら気軽に声を掛けてください、という姿勢でいるように心掛けています。緊張状態の病院からハウスに戻った時には、自宅に居るように少しでもくつろいで過ごしてほしいと切に思っています。

「ぞうさんのおうち」の奉仕活動は、地味ではありますが、エネルギーがいるのも確かです。この活動を続けていられるのも、家族の協力や檀信徒の理解、さまざまな人の支えがあっての賜物です。このことを忘れず、これからもコツコツと続けていきたいと思っています。



三橋國民氏制作のレリーフ「釈」

浄土宗平和賞とは？

昨今、改めて「社会参加する仏教」という言葉が提唱されています。本来、宗教的救済すなわち教化と、社会事業の実践は不可分であるといえましょう。

時代の急激な変化が大きな社会矛盾を抱え込むこととなった明治期、貧困の救済をテーマに各宗派・各教団が積極的に慈善事業に取り組み、足尾銅山鉱毒事件や東北地方の大飢饉の災害救済活動にも、宗派を挙げての活動が成果を挙げました。また我が宗に於いては、児童擁護施設の建設や児童教育のほか、

渡辺海旭師の主導のもと、各種の貧困対策事業が開始されています。これらは、後に大きく発展する浄土宗の社会福祉事業の礎となりました。

現代に目を移すと、戦後の高度成長時代を経て、日本の社会は大きく変化を遂げ、共同体や家族の崩壊は数々の社会問題を引き起こしています。このような状況において地縁・血縁を基とした伝統的寺院のあり方に加え、地域コミュニティの再構築、共同体の回復の核となる役割も期待されています。かつて

は貧困の救済が主なテーマであった各社会事業も、現代においてはグローバル化や社会問題の複雑化に伴い、多岐にわたる対応が求められています。

本協会は「共生（ともいき）」の理念を基に、一切の生きとし生けるものの安穏と平和を願う仏教者として、「社会参加する仏教」を推進しています。この度の「浄土宗平和賞」の創設は、各地で積極的に社会活動をなさっているご寺院・教師・寺族等の方々を顕彰すると共に、その活動内容等を広く会員にご紹介することによって、公益に資する未来の寺院のあり方のモデルとなり、格好のケーススタディと成り得ると考えています。

浄土宗平和協会 年次レポート



浄土宗平和協会（JPA）は、浄土宗劈頭宣言にある「愚者の自覚」にたち、「世界と共生する」ために平和の問題に取り組み、NGO支援、ブックギフト活動、浄土宗平和賞、平和アピール、スタディーツアーなどの事業を行っています。

会報ダーナでは昨年度の事業を報告するとともに、設立20周年を迎え、平成22年度の展望などを報告いたします。

専門委員会を設置し会則を大幅見直し

昨年7月から専門委員会を設置し、浄土宗平和推進協議会と大差なかった会則を、会員制を採り協会として自立するために、大幅に見直しました。新たに総会規定などを設け、会員の意見を反映できる組織として出発し、真の浄土宗の教化公益団体を目指します。

第2回浄土宗平和賞に山田・森下両師

社会参加する仏教をめざし、公益活動を行う浄土宗寺院教師を顕彰、支援する第2回浄土宗平和賞に、東京教区魚藍寺住職・山田智之上人、同教区了源寺住職・森下慎一上人が共同受賞として決定しました（2頁参照）。新設の造形美術家三橋国民さんが作成した副賞のレリーフも贈られました。副賞賞金も今年から50万円に増額されました。

ブック・ギフトin Tokyo を実施

平成21年度もブックギフトin Tokyo を実施しました。ブックギフト応募者総数は42人（内訳：男性19人、女性23人）、昨年11月29日には浄土宗大本山増上寺大殿で、授与式を行いました。

●図書贈呈者国別一覧

中国25人、韓国9人、台湾5人、ミャンマー、ネパール、モンゴル各1人

●応募者大学別一覧

武蔵野大学8人、東京大学7人、立教大学4人、慶應義塾大学、駒澤大学各3人、一橋大学、早稲田大学、

東京学芸大学、東京農業大学各2人、東京芸術大学、日本教育大学院大学、学習院大学、立正大学、順天堂大学、明治学院大学、青山学院大学、お茶の水女子大学、明治大学各1人

●応募者在籍

学部生15人、大学院生25人、研究生2人

スタディーツアーで バチカン行政庁長官と対話

第5回スタディーツアーを2月23日から8日間行い、バチカンのローマ法王庁、修道院などを訪問しました。カトリックの「諸宗教対話評議会」の協力で、法王庁ナンバー2である法王庁長官（枢機卿）との平和対話が実現し

平成21年 平和念仏募金によるNGO支援実績

団体	プロジェクト名	援助額
日本国際ボランティアセンター（JVC）	紛争地における子どもの栄養支援（パレスチナ・ガザ地区）	¥700,000
パレスチナ子どものキャンペーン	パレスチナ難民キャンプの子どものための教育支援	¥500,000
反差別国際運動（IMADR）	インド・ダリット子どもデイケアセンター・プロジェクト	¥600,000
シャンティ国際ボランティア会（SVA）	ミャンマー（ビルマ）難民キャンプにおける図書館活動	¥700,000
ジユマ・ネット	チッタゴン丘陵地帯カグラチャリ県紛争被害を受けた青少年への教育支援	¥500,000
計		¥3,000,000

した。また、ローマ郊外のベネディクト派修道院への宿泊も実現、朝と夜のミサにも出席しカトリックの神髄を学びました。

スマトラ島沖地震災害・ハイチ地震災害に緊急募金を実施

スマトラ島沖地震災害、ハイチ地震災害の緊急募金に4,795,218円もの浄財をいただきました。スマトラ島に全日本仏教会などを通じ3,000,000円、ハイチには国境なき医師団などの団体に1,275,000円を送金いたしました。

INEB東アジアフォーラムを共催

International Network of Engaged Buddhist East Asia Forum が、4月行われ、台湾、韓国、日本の若い仏教者が「現代の苦悩と向き合う仏教」のテーマで対話し行動しました。このフォーラムを支援しました。

浄土宗平和協会平成21年度事業報告

平成21年4月～平成22年3月

4月21日（火）	事務引き継ぎ 監査会	13:00～	京都宗務庁
4月30日（木）	東京事務局会	16:00～19:00	九品寺
6月1日（月）	理事会	14:30～17:00	東京宗務庁
6月9日（火）	理事会	11:00～12:00	京都宗務庁
	総会（平和賞授与式）	13:00～17:00	
7月30日（木）	懇親会	18:00～	京都ホテルオークラ
	正副理事長会	13:00～17:00	
10月7日（水）	三団体連絡協議会	15:00～	東京宗務庁
10月15日（木）	専門委員会	13:30～	東京宗務庁
11月5日（木）	東京事務局会	17:00～19:00	九品寺
11月25日（水）	専門委員会	14:00～	東京宗務庁
11月29日（日）	東京事務局会	15:30～	観智院
	ブックギフト授与式	15:00～17:00	
11月30日（月）	理事会	10:00～14:00	東京宗務庁
12月26日（土）	東京事務局会	16:00～18:00	九品寺
2月8日（月）	東京事務局会	16:00～18:00	光専寺
2月23日（火）～3月2日（火）	スタディーツアー		ローマ法王庁など
3月30日（火）	平和賞選考委員会	10:00～12:00	東京宗務庁
	理事会	13:30～	

会報ダーナ発送	7月、12月の年2回
会費請求	7月
平和念仏募金のお願ひ	12月全国寺院発送
緊急募金	7月発送 402件
緊急募金	財団法人報恩明照会、宗務庁と合同実施
ホームページ更新	3月実施

平成21年度 浄土宗平和協会収支決算書

（自：平成21年4月1日 至：平成22年3月31日）

■収入の部

款	項	予算額	決算額
(1)	会費	3,120,000	3,732,000
	①正会員会費（本年度分）	2,500,000	3,610,000
	②賛助会員会費（本年度分）	600,000	122,000
	③過年度会費	20,000	0
(2)	助成金	2,459,000	2,509,246
	①浄土宗助成金	2,459,000	2,509,246
(3)	募金	3,000,000	7,195,137
	①平和念仏募金	2,500,000	2,399,919
	②緊急募金	500,000	4,795,218
(4)	雑収入	30,000	47,974
	①雑収入	30,000	47,974
(5)	繰入金	3,709,648	4,209,648
	①前年度繰越金	3,709,648	3,709,648
	②繰入金	0	500,000
収入合計		12,318,648	17,694,005

■支出の部

款	項	予算額	決算額
(1)	研修費	100,000	0
	①研修費	100,000	0
(2)	事業費	7,435,000	10,038,210
	①会報発行費	660,000	675,000
	②会報（年次報告書）発行費	550,000	550,000
	③広報資料作成費	210,000	200,000
	④NGO団体支援金	3,030,000	3,030,000
	⑤団体協力費	100,000	40,000
	⑥緊急援助拠出金	100,000	4,275,218
	⑦スタディーツアー関連費	200,000	358,248
	⑧総会費	200,000	211,065
	⑨平和賞関連費	845,000	62,533
	⑩ブック・ギフト関連費	1,500,000	606,146
	⑪宗内団体協力費	40,000	30,000
(3)	会議費	1,054,000	1,469,246
	①会議費	1,024,000	1,438,020
	②会議賄費	30,000	31,226
(4)	庶費	2,600,000	2,815,441
	①事務費	1,000,000	1,743,466
	②派遣費	500,000	0
	③『ダーナ』発送事務費	600,000	324,017
	④ダイレクトメール送料	500,000	747,958
(5)	募金繰入金	100,000	500,000
	①繰入金支出	100,000	500,000
(6)	予備費	1,029,648	0
	①予備費	1,029,648	0
支出合計		12,318,648	14,822,897

平和基金	
平和基金	17,519,840

浄土宗平和協会 年次レポート



浄土宗平和協会は、本年度設立20年目の節目の年を迎えます。会員数もおかげさまで、昨年度末で正会員340人（団体）、賛助会員31人（団体）と飛躍的に伸び、十分な活動を行える体制が少しずつ整いつつあります。今年は会員数500を目指し行動します。ブックギフト、平和賞も3回目を迎えます。また、児教連、保育協会との連携事業も始まりました。

真の浄土宗の教化公益団体を目指し、自立した事務局体制の構築に邁進します。本年度もどうぞご支援、ご指導をお願いいたします。

真の公益教化団体を目指します

浄土宗平和協会はことし、平成2年に設立された浄土宗平和推進協議会時代から通算20周年を迎えます。節目の年に、平和祈願法要などを行うとともに、会計スタッフを拡充し、宗務庁に事務を依頼するのではなく、自立した会の運営に努めます。

また自立することによって、「公益教化団体」として、浄土宗から認めていただくよう活動します。

会員加入を呼びかけ、会の基盤を拡充します

協会発足から、4年目で会員が400名（団体）近くと飛躍的に伸び充実しました。みなさまからのご理解とご支援を元に、さらに会員500人（団体）をめざし、宗内御寺院総数の1割以上の参加を目標とします。また、協会の細則を昨年度改正し、会員の意見を反映する会として出発します。

第6回スタディーツアー、エルサレムで学びます

これまで隔年で行っていたスタディーツアーを毎年行います。昨年は宗報で広報し、30人の定員に対し40人をはるかに超す応募があり、一部参加をお断りする事態になり、ご迷惑をおかけいたしました。

本年度は、昨年度に引き続き、スタディーツアーを実施し、パレスティナ問題の真実をイスラエルの首都エル

エルサレム・嘆きの壁



サレムで学ぶとともに、宗教のつぼといわれるエルサレム、イスタンブールで宗教を実感します。協力は、NGO支援を行っている「パレスティナ子どものキャンペーン」と「日本国際ボランティアセンターパレスティナ担当」の2団体があたり本格的なスタディーツアーとなります。

実施は、2011年2月下旬頃を予定しています。

今年も平和念仏募金、NGO支援を行います

平成10年度から、浄土宗御寺院のご理解の元、行っております平和念仏募金の呼びかけを12月に行います（詳しくは表参照）。

昨年度から引き続きの5団体に加え、今年より新たに浄土宗教師が代表を務めるNPO法人ユニ（遠藤暁及代表）に、支援が始まりました。

第3回ブックギフトin Tokyo、第3回浄土宗平和賞を実施します



宗教マスコミにも大きく取り上げられ、宗内でも非常に好評を持って受け入れられた浄土協の主要事業ブックギフト、浄土宗平和賞が本年度は3回目を迎えます。

ブックギフトは、東京での実施だけでなく、関西地区での実施に向けて、準備を行います。京都、大阪、滋賀の各府県に学ぶ外国人私費留学生に1万円以内の本を送ることができるよう、滋賀支部などと協議を進めていきます。

また、浄土宗平和賞は会員推薦によって成り立っています。推薦もよろしくごお願いいたします。

平成22年 平和念仏募金による支援NGO一覧

団体	プロジェクト名	援助額
① 日本国際ボランティアセンター（JVC）	紛争地における子どもの栄養支援（パレスチナ・ガザ地区）	¥700,000
② パレスチナ子どものキャンペーン	パレスチナ・ガザ子どもセンターでの活動	¥500,000
③ 反差別国際運動（IMADR）	インド・ダリット子どもデイケアセンター・プロジェクト	¥500,000
④ シャンティ国際ボランティア会（SVA）	ミャンマー（ビルマ）難民キャンプにおける図書館活動	¥700,000
⑤ ジュマ・ネット	チッタゴン丘陵地帯カグラチャリ県紛争被害を受けた青少年への教育支援	¥500,000
⑥ NPO法人ユニ	ラカイン・プロジェクト	¥100,000
計		¥3,000,000

平成22年度 浄土宗平和協会収支予算

（自：平成22年4月1日 至：平成23年3月31日）

■収入の部

款	項	22年予算額	21年予算額
(1) 会費		4,200,000	3,120,000
	①正会員会費（本年度分）	4,000,000	2,520,000
	②賛助会員会費（本年度分）	200,000	600,000
(2) 寄付金		3,000,000	3,000,000
	①平和念仏募金	2,500,000	2,500,000
	②緊急募金	500,000	500,000
(3) 助成金		2,000,000	2,459,000
	①浄土宗助成金	2,000,000	2,459,000
(4) 雑収入		30,000	30,000
	①雑収入	30,000	30,000
(5) 繰入金		2,871,108	3,709,648
	①前年度繰入金	2,871,108	3,709,648
	②基金繰入金	0	0
収入合計		12,101,108	12,318,648

■支出の部

款	項	22年予算額	21年予算額
(1) 事業費		7,710,000	8,335,000
	① NGO 団体支援金	3,000,000	3,000,000
	②緊急救援資金	300,000	100,000
	③ブック・ギフト費	1,000,000	1,500,000
	④平和大会等関連費	850,000	845,000
	⑤会報費	2,200,000	2,310,000
	⑥啓発・普及費	270,000	310,000
	⑦スタディーツアー関連費	0	200,000
	⑧各種団体連帯費	40,000	40,000
	⑨調査研究連帯費	50,000	30,000
(2) 会議費		1,383,000	1,254,000
	①総会費	200,000	200,000
	②理事会費	744,000	1,054,000
	③正副理事長会費	179,000	—
	④事務局会費	260,000	0
(3) 事務費		1,050,000	1,600,000
	①事務費	1,000,000	1,100,000
	②旅費	50,000	500,000
(4) 募金繰金		50,000	100,000
	①基金繰出	50,000	100,000
(5) 予備費		1,908,108	1,029,648
	①予備費	1,908,108	1,029,648
支出合計		12,101,108	12,318,648

平和基金	
平和基金	17,519,840

予告!

浄土宗平和協会
第6回スタディツアー

宗教のるつぽ、エルサレムと、
世界遺産・イスタンブール歴史地域への旅。

浄土宗平和協会は、平成23年2月ごろをめぐり、宗教のるつぽともいわれるエルサレム、東ローマ帝国の首都で、今はイスラム教の聖地でもあるイスタンブールを訪れる第6回スタディツアーを行います。浄平協の支援団体である「日本国際ボランティアセンター」、「パレスティナ子どものキャンペーン」が活動するエルサレムで、国際的な問題と化しているパレスティナ問題を現地で学ぶほか、キリスト教、ユダヤ教、イスラム教の聖地で、それぞれの宗教が混在して活動、世界中からそれぞれの宗教の信者が集まる聖地エルサレム（イスラエルの首都）、イエス・キリストの生誕地、旧約聖書のユダの街、そしてパレスティナ自治区の町であるベツレヘムを回るとともに、帰路、黒海・地中海を結ぶボスフォラス海峡に面した歴史の町イスタンブール（トルコ）を観光します。



エルサレム神殿の丘

以下の旅程は、変更の可能性があります。また政治問題などの影響で、渡航が困難になった場合は、浄平協の責任において渡航中止とする場合があります。宗報11月号にて、正式に告知し申込書を同封いたします。前回のイタリア・バチカン訪問のツアーは正式告知後10日で定員を超え、お断りした会員もいらっしゃるなど、ご迷惑をおかけしました。今回は、少し定員を増やし、対応する予定です。会員は旅行代金5パーセント引きです。会員以外の参加も歓迎いたします。

- 旅行期間:2011年2月下旬予定
- 旅行代金:28万円～33万円前後(参加人数によります)
- 参加人数:15人～25人程度

日次	発着都市	現地時間	交通機関	摘要
①	成田空港 発	14:25	TK-051	成田空港 [トルコ航空] →イスタンブール
	イスタンブール 着	20:05		
②	イスタンブール 発	23:55	TK-792	イスタンブール [トルコ航空] →テルアビブ
	テルアビブ 発	1:55	専用車	テルアビブ [約50km/約1時間] →エルサレム
③	エルサレム 着	深夜		【エルサレム:グランドコート泊予定】
	エルサレム	終日		午前:エルサレム郊外見学 午後:エルサレム旧市街見学 【エルサレム:グランドコート泊予定】
④	エルサレム	終日		終日:現地研修 [日本国際ボランティアセンター (JVC) 研修] 【エルサレム:グランドコート泊予定】
⑤	エルサレム	終日		終日:現地研修 [パレスチナ子供のキャンペーンより現地事情研修] 【エルサレム:グランドコート泊予定】
⑥	エルサレム 発	午後	専用車	午前:エルサレム旧市街見学
	テルアビブ 発	15:30	TK-788	エルサレム [約50km/約1時間] →テルアビブ
⑦	イスタンブール 着	17:50		テルアビブ [トルコ航空] →イスタンブール 【イスタンブール:セイラン・インターコンチネンタル泊予定】
	イスタンブール	終日		終日:イスタンブール歴史地域見学 【イスタンブール:セイラン・インターコンチネンタル泊予定】
⑧	イスタンブール 発	17:50	TK-050	出発までイスタンブール歴史地域見学 イスタンブール [トルコ航空] →成田空港 【機中泊】
⑧	成田空港 着	12:25		

第5回スタディツアーを実施

バチカンで行政庁長官と懇談

第5回目となる浄平協スタディツアーは、今年2月23日から8日間の日程で、イタリアならびにバチカン法王庁訪問を行いました。カトリックの「諸宗教対話評議会」などのご協力で、ローマ教皇庁でローマ法王に次ぐ高位の枢機卿・法王庁行政庁長官と親しく面会し、平和に関する対話を行ったほか、ローマ郊外のベネディクト派修道院に泊りして、ミサに参加するなど、カトリックの教義と信仰に触れました。



全員で記念撮影

また一行は、その後、フィレンツェ、ベネチアなど古都を訪れ、イタリア観光を堪能し、全員元気で帰国しました。

今回は、バチカン訪問ということもあって、人気が非常に高く、宗報などで公募後わずか1週間で定員を超え、一部参加をお断りする事態となり、非常にご迷惑をおかけしました。紙面をお借りして謝意を表します。



バチカン行政庁長官と挨拶を交わす荻野理事長



修道院を視察する一行

【第5回スタディツアー参加者(敬称略)】

荻野順雄、望月充現、望月美紀、土屋正行、土屋松美、稲村博道、稲村暁央、齊藤尚美、齊藤顕洸、真野威人、真野紘子、永山恵子、津田珠慶、人見由彦、奥村寛、深谷孝玄、深谷雅子、

能登正晴、能登泰子、岡田正明、岡田紀江、齊藤順恵、三木寂夢、澤木洋子、魚住浩子、服部善子、中野早智子、幸島久子、兼岩展子、鈴木彩子、金田進徳、香澤秀子、片山絹代、巖谷孝子、戸松義晴、川副春海
以上36名

総会規定などを盛り込む。真の公益団体として自立するために。

浄土宗平和協会は、21年度に総会規定を盛り込むなど、大幅な会則改正を行った。以下、会則を紹介する。

浄土宗平和協会新会則(一部略)

(設立及び名称)

第1条 第8回浄土宗教化推進会議(昭和63年)における決議を体し、この会を浄土宗平和協会(以下「協会」と称する。英文表記は Jodo Shu Peace Association (JPA) とする。

(事業)

第4条 この協会は、前条の目的を達成するため、平和の推進及び国際協力に関する次の事業をおこなう。
(1)啓発及び普及
(2)調査・研究及び資料収集
(3)大会の開催及び関連活動への派遣
(4)宗内各種団体との連携
(5)平和記念募金
(6)その他必要な事業

(会員・組織)

第5条 この協会は、本協会の趣旨に賛同し登録を完了した者を会員とし、その者をもって組織する。
(1)正会員……本宗寺院及び教師、助教師、宗徒、並びに寺族
(2)賛助会員……①檀信徒 ②法人(宗教法人以外)
2 この協会は、支部を教区に置くことができる。

(総裁・副総裁)

第6条 この協会は、浄土門主を総裁に推薦する。尚、理事会の発議により、大本山法主のうちから副総裁を推薦することができる。

(役員)

第7条 この協会に、次の役員を置く。

- (1)理事長 1人
- (2)副理事長 2人
- (3)理事 若干人
- (4)監事 2人
- (5)事務局長 1人

(役員選出)

第8条 この協会の役員選出は、次の通りとする。
(1)理事長及び副理事長は、理事会において理事から選出された者とし、宗務総長が委嘱する。
(2)理事は、総会において正会員より選出された者とし、宗務総長が委嘱する。
(3)監事は、総会において正会員より選出された者とし、宗務総長が委嘱する。
(4)事務局長は、理事会において正会員より指名された者とし、宗務総長が委嘱する。

(役員任務)

第9条 この協会の役員任務は、次の通りとする。
(1)理事長は、この協会を代表し、会務を統理する。

- (2)副理事長は、理事長を補佐し、理事長事故あるときはその職務を代行する。
- (3)理事は、理事会を組織し、会務を審議する。
- (4)監事は、会務を監査する。
- (5)事務局長は、会務を執行する。

(役員任期)

第10条 この協会の役員任期は4年とし、再任を妨げない。

(事務局)

第11条 この協会に事務局を置き、会務を執行する。
2 事務局は、事務局長及び事務局員を以て組織する。但し、事務局次長を必要に応じて置くことができる。
3 事務局次長及び事務局員は、理事長が会員中より指名し委嘱する。

(参与及び専門委員)

第12条 この協会は、理事会の推薦により参与及び専門委員を置くことができる。
2 参与は、理事長の職にあったものとする。
3 専門委員は、正副理事長及び理事会に出席し、助言することができる。

(会議・会議の招集)

第13条 この協会の会議は、総会、理事会、正副理事長会及び事務局会とする。
2 理事会、正副理事長会及び事務局会は、理事長が招集し、会議の議長となる。

(総会)

第14条 総会は、年1回開催し、出席者のなかから議長を選出し、重要事項を議決する。
2 総会は、正会員2分の1以上の出席がなければ開催することができない。但し、書面で予め意思を表示した者は、出席とみなす。
3 総会の議決は、出席者の過半数を必要とする。

【以下略】



真の公益教化団体を目指して

浄土宗平和協会は、真の公益教化団体を目指し自立する。

これまで、浄土宗平和推進協議会よりの長い歴史から、宗務庁に多くの事務を委託してきた。平成18年度より、会員制を採るよう

になり、名実ともに自立した団体として、事務局がさまざまな運営実務を担うこととなった。会計担当に大島康裕上人（東京教区北部組浄光寺）をお願いして（別記事参照）、事務局体制の充実を図る。また、会則を変更し、総会、理事会の権限を充実して、会員の意見が会の運営に十分反映されるよう、組織充実を図る。さらに、宗内の公益教化団体と公認されるよう、会員数の増強、自立し

◎ JPA東京事務局より

報告●浄平協事務局・鍵小野和敬

慌ただしく6月の前半が過ぎ去りました。6月8日「浄土宗平和協会総会並びに平和賞の授与式」、10日には東京教区教宣部有志で行う自死者追悼法要「ともに生き、ともに祈る」、14日、15日には東京浄青が主催する「浄土宗青年会関東ブロック総会並びに研修会」と、6月前半に3つのイベントを抱え、すべてのプロジェクトですこ〜しずつお手伝いをさせていただいたため、毎日の様に増上寺をうろうろ、いや参上させていただく日々でした。

浄土宗平和協会の東京事務局には、昨年11月のブックギフトの準備からお手伝いをさせていただくようになり、初めて参加する総会でした。今年の平和賞の受賞者は「おさかなの家」を運営される魚藍寺ご住職の山田智之上人と、「ぞうさんのおうち」を運営される了源寺ご住職の森下慎一上人でいらっしゃいました。活動をご報告いただいたスピーチの中に、「施設をご利用される保護者の方やお子さんに対して布教活動はあえて行わない、ただ相手が必要な時や困った時に話を聞いてあげられる環境を作っている」というお話に感動いたしました。

その後にくつく自死者追悼法要の為に事前勉強会にて、葬儀社に勤務され、ご自身も自死遺族であられる講師の先生に「僧侶にしかできないこと」と題され教えていただいたことには、僧侶に求められているのは難しい法話やありがたいおはなしではなく、ご遺族への細やかな配慮が主でありました。そのほとんどは、誰にでも実践できることでありますが、気づかなかったことの多さに頭をブロックで殴られたがごとくハッとさせられました。

すこ〜しずつお手伝いをさせていただいたお陰で、6月前半の収穫は多かったのですが、耳だけ肥えて自分がやった気持ちにならないよう注意が必要だと反省の6月後半でございます。実りある人生の後半？ まだ前半かしら？ のために何か一つでも死ぬまでには人のために役立ちたいと考える日々です。

た運営などを強化する方針だ。

浄平協が20周年に

浄土宗平和協会が、平成2年の教化推進会議の議決を受けて、浄土宗平和協議会として、宗内唯一の平和団体として産声を上げて、本年度で20周年を迎える。また、平成23年度は、協会に衣替えて5年目となり、節目の年を迎えるにあたり、来年度にも、平和祈願法要などを開筵するなど、設立の原点に戻り、平和とは何かと自問しながら、活動を行う。

浄平協は、平和念仏募金、緊急募金を、浄土宗御寺院にお願いし、浄財をいただきながら、「NGO支援」「ブックギフト活動」「浄土宗平和賞」などの活動を行ってきた。今後も、社会に対する平和アピールを含め、平和へ資する活動を行う。

新事務局員に大島師

浄平協は会の充実を目指し、事務局体制を拡充する。新会計担当に東京教区北部組浄光寺副住職の大島康裕師に依頼した。大島師は、寺院活動の傍ら、さまざまな社会事業を行っており、会計担当としてうってつけの人材。これまで通り、事務局はインターネット時代を反映してネットでの会議、事務連絡を駆使して、日本全国に散らばる会員、事務局の事務を行う予定。

戸松専門委員が全日仏事務総長に

浄平協の専門委員である戸松

義晴上人（東京教区芝組心光院住職）が、全国の伝統仏教寺院75,000か寺、58宗派の連合体である全日本仏教会（全仏）の事務総長に就任した。また、浄平協副理事長の小林正道上人（東京教区芝組妙定院住職）は、同会の常務理事。

全仏は、仏教徒の国際組織であるWFB（世界仏教徒連盟）の日本唯一のセンターであり、国際救援委員会などでも、浄平協とも、これまで何度も連携を取ってきた。

戸松委員が、全仏の事務局を代表する総長就任でこれまでで

上に、浄平協とコラボレーションすることが多くなることが予想される。戸松総長の任期は2013年3月まで。

JPA HPをリニューアル

浄土宗平和協会の公式ホームページを3月、リニューアルした。浄平協のHPは、ブックギフト事業開始に伴い、ウェブを使う応募者（都内の大学に通う外国人留学生）の便宜を図ろうと、開設された。

浄平協の活動や、ブックギフト

の案内、会報ダーナのバックナンバーなどがダウンロードできる。これまで、月の訪問者が550件、最大30,000



ヒットを数えるまでになった。

HP更新は、特にブックギフトの要項書き換え、ダーナ最新号の掲載などで、これまで以上に、充実したものとなっている。

私も浄平協会員

神奈川県宗仲寺 平野仁司師



今回の「私も浄平協会員」は、神奈川県高座組宗仲寺の平野仁司師。平野師は、「寺は地域の文化センター」と提唱され、ご自坊を地域に開放、様々な文化活動を展開、また宗仲寺が経営母体の座間幼稚園で、幼児教育に長年情熱を傾けていらっしゃいます。現在は浄土宗児童教化連盟理事長を務められています。

私が「平和」について強く意識をした原体験は戦時中にあります。

昭和19年、当時小学校3年生でしたが、金属は戦争のために供出する時代、お寺も例外ではありませんでした。ある日、学校から帰ると、銅製のお地藏様を供出することになっていました。それだけならまだしも、持ち帰るために目の前で、お地藏様の頭をハンマーでたたき落としているのです。

幼心に、なんと戦争というものは無残なことをするのだ、と思いました。

今、浄土宗では「共生」をキーワードに、様々な取り組みをしていますが、「共生」を宗教運動として提唱されたのは椎尾弁匡師です。大学時代、椎尾先生が学長でいらっしゃって、4年間毎週「共生」を主なテーマにした話を伺いました。

それらの経験があいまって、「平和」についての思いを自坊でも具現化できないかと考え、地域の方々と共に、様々な取り組みを始めました。例えば、週替わりでの

ギャラリー展示、今計画しているのは、窪島誠一郎氏が設立された長野県の「無言館」に収蔵された戦没画学生の作品を展示できないか、と考えています。

一昨年、児童教化連盟の理事長を務めていますが、子どもたちに平和を伝えることの大切さを痛感しています。今年の3月下旬、一泊二日で児教連主催の「平和会議」を実施、小学校高学年の子どもたちと共に、平和について考えました。平和のためには「相手を想い、自分が変わる」とある参加児童の言葉が胸を打ちました。私たち大人が、範を示さなければと強く思いました。

浄平協理事長の荻野師とは、古くからのつきあいで、荻野師が理事長になったことを契機に、会員として参加しました。児教連と浄平協は、昨年度から協力していくことを確認していますが、連携を深めていく中で、「平和」を希求する運動が、大きく広がっていくことを願っています。

浄土宗平和協会 (JPA)



会員募集

国や信条を超え、「平和」という人類共通の理念のために、志を同じくする人々による連携をめざす継続的なネットワーク運動として、浄土宗平和協会は会員を募集しています。入会希望、問い合わせは下記事務局へ。



浄平経が支援する子どもたち (写真提供: JVC)

[入会要項] 浄土宗平和協会 (JPA) の活動にあなたも参加しませんか?

正会員

対象……………浄土宗教師・寺族
会費……………年間10,000円 (一口)

賛助会員

対象……………檀信徒、企業や宗教法人以外の団体
会費……………檀信徒会員 年間 2,000円 (一口)
法人会員 年間 10,000円 (一口)

正会員は、入会時に「私たちは平和を祈念します」と記された会員プレートを贈呈します。賛助会員は、応援に感謝を込めて、会報ダーナに芳名を掲載します。正会員、賛助会員は、スタディーツアーに割引料金で参加できます。



平和念仏募金のご協力のお願い

平和念仏募金は、各NGO団体への援助、私費留学生に希望図書を贈呈するブック・ギフト活動、社会参加するお寺を顕彰する浄土宗平和賞などの活動に充てられます。

恐縮ではございますが、何とぞご協力賜りますようお願い申し上げます。

- ◆平和念仏募金は、浄土宗劈頭宣言にある愚者の自覚に立ち返り、「世界に共生」する平和・環境・福祉・人権などの諸問題に取り組むための募金です。
- ◆①世界の人々に役立つ、②共に学びあう、③社会にアピールする、④新たな人材を発掘・要請する一との方針のもと、国

際的に活躍するNGO (非政府組織) を支援しております。
◆私費留学生希望図書支援「ブック・ギフト」事業を行い、留学生へプレゼントした書籍の購入費として役立たせていただきます。

JPA 浄土宗平和協会4つ活動

- 1 平和念仏募金運動
- 2 ブックギフト事業
- 3 浄土宗平和賞
- 4 平和アピール・NGO支援

浄土宗平和協会役員・スタッフ

理事長……………荻野順雄	専門委員……………戸松義晴
副理事長……………小泉顕雄	茂田真澄
小林正道	参 与……………長島善雄
理 事……………橋田邦俊	監 事……………梶谷正道
石上源應	塩竈義明
山川正道	事務局次長……………服部光雅
深谷雅子	事務局……………中野隆英
渡辺成就	杉浦靖俊
金田進徳	齋藤隆尚
加用穂子	鍵小野和敬
事務局長……………川副春海	大島康裕

◎「ダーナ」をお送りします!

本誌「ダーナ」を希望者には希望部数を郵送します。ご希望の方は、事務局までご請求ください。

ご希望の方には詳しい案内の掲載された協会のパンフレット (入会用振込用紙つき) を郵送させていただきますので、協会までご請求ください。

浄土宗平和協会 (JPA)
〒605-0062 京都市東山区林下町400-8 浄土宗人権同和室内
電話075-525-0484 Fax075-531-5105 メールjpa-info@jodo.or.jp
郵便振替口座【01020-5-16369 名義:浄土宗平和協会】

平和、共生、みんなのために